

し、検討していきたい。

形原西浦線の西中田 交差点について

問 事故件数と交差点改良の進捗状況は。

答 21年4月から24年1月までは人身事故20件、物損事故30件である。交差点改良は公安委員会と協議し、用地買収を行い、信号機の早期設置に向け努力していきたい。

市民の会蒲郡 代表 新 実 祥 悟

堅実な行財政運営 について

問 事務事業評価の結果、どれくらいのも事業を廃止したか。また、今後の廃止予定の事業はどうか。

答 結果を受け、20年度から3年間において4事業を廃止した。今後は出張所窓口サービス事業廃止を、理解を得ながら進めたい。

問 23年に試行的に事業仕分けを行ったようだが、



今後は本格的にやるのか。

答 今回多くの課題が見えた。行政改革委員会の総括が出た上で、本格実施の可能性を探っていきたい。

蒲郡市における

少人数学級の実施状況は

問 少人数学級の24年度の実施予定を伺う。

答 23年度までに、国、県の措置も合わせて小学1年生から中学1年生まで35人以下学級が実現した。24年度では、さらに中学2年生まで拡充する。

ヘルスケア・ コンソーシアムを

問 医療系産業の育成を図ることが、本市の活性化に向けて有効な手段である。産学官連携の推進の一環として、コンソーシアムへの取り組みはどうか。

答 機会、要請があれば必要に応じて参加し、産業の活性化に向け、職員の資質の向上にも努めたい。

国の政策の中での 蒲郡市の観光行政は

問 観光庁長官が23年9月に蒲郡に見え、12月には市長が東京で長官と面談した。国の政策にあわせて市の取り組みはどうか。

答 観光庁が全国で実施するモニターツアーにおいて、当地のノルディックウォーキングが採択された。今後も地域資源を活用し、この地域に求められる観光施策を展開したい。

竹内滋泰（市政クラブ）

蒲郡駅に建設される観光 交流センターについて

問 観光交流エリア、展示エリア等の活動は。

答 観光交流エリアは、コンコースが一番近いところになり、市民と観光客が滞在しやすいエリアに、展示エリアは、イベントの開催はもちろん、物産展示、市内産業の紹介、伝統文化の発信、市民団体の発表の場等、市関連の展示をしていきたい。事務室は、観光インフォメーション、プロモーションの拠点としたい。

権限と財源を移譲しての 地域内分権について

問 本市においても、高浜市のような地域内分権

が必要と思われるがどうか。
答 各自治体の特徴を生かし、独自の取り組みを進めている。高浜市でも、独自の政策を推し進めており、非常に参考になる。

尾崎広道（無所属の会）

観光地駐車場について

問 にぎわいのある観光地のように、観光客用駐車場をほどよく遠くに用意し、お金を使っていたり、システムはいかがか伺う。

答 いろいろな地域の先進事例を参考に研究していきたい。

競艇場従事員について

問 従事員のやる気を起こす施策について伺う。

答 希望の多い研修等様々な研修を行い、職務に専念できるよう心がけたい。

工事等の市内業者発注 について

ノルディックウォーキング

